



明るく、楽しく、そして心豊かに 仲間と共に大きな輪
天童東ロータリークラブ

国際ロータリー認定番号 1653 番
 認証加盟日 1985年4月11日 第2800地区第3ア077
 例会日 毎週水曜 12時30分~13時30分 会場：天童ホテル
 2015 ~ 2016 会長 米野幸治 幹事 斎藤幸雄



地区目標 **Rotary** 
 ロータリーの縁を活かそう
 通算例会 1452 回
 本年:18 回
 例会日:2015年11月04日
 例会場:天童ホテル
 クラブ会報委員長 相馬 勝博

司会 半澤 清彦 副SAA

会長挨拶 米野幸治会長 平成27年11月4日

月日がたつのは本当に早いもので、もう11月に入り、朝夕はめっきり寒くなってきました。



今日は皆さんに大変うれしいお知らせがあります。私たちのクラブの押野宏さんが秋の叙勲で旭日章を受章されました。クラブにとりまして大変うれしく名誉なことです。心からお喜びを申し上げます。

天童高原の新そば祭り、当クラブの工藤名人が打ったそばを皆さんがうまそうに食べているところが山新に写真入りで出ておりました。私も日曜日にごちそうになってきました。うちたてのそばは格別でした。また10月30日の山新に水戸部酒造、他、県内の酒蔵が日本酒をソウルでPRしているところが写真入りで出ておりました。今度ソウルに行く機会があったら水戸部酒造の酒を飲んでみたいと思います。

それでは今日のゲストを紹介いたします。地区米山奨学会委員長の久保章宏さん山形南RCです。そして奨学生のガラバドラフ・ムンドルさんです。ようこそ天童東RCへ おいでいただきありがとうございます。今日はお二人のお話をお聞きできますことを楽しみにしておりました。のちほど卓話よろしく願いいたします。

ところで、ガラバドラフさん、日本語で一番美しい言葉はなんだと思いますか。それは「ありがとう」です。「ありがとうございます」この言葉を日本人はとても大切にしております。そして学校で習うのではなく小さいころから家庭で教えられます。「ありがとう」は感謝の心から出てきます。そして「恩」というのがあります。恩には、めぐむとか、いつくしむ、という意味があります。親の恩、先生の恩、私たちは生きていくうえで色々な人の恩を受けて生きております。

(次のページに続く)

今日の食事 ロータリーの目的朗読 ソング[君が世]

高橋栄治さん 原田正夫ソングリーダー



本日の卓話 担当 R財団・米山奨学会委員会



村山委員長 大久保委員長 ガラバドラフ・ムンドルさん

「米山奨学委員会について」

始めに、山形南RC 大久保 米山奨学会委員長のお話がありました。米山梅吉氏の紹介、米山奨学会の寄付金の状況、米山奨学生の世話クラブの実績、山形大学の米山奨学生の状況、等でした。これからの国際平和は若者の力が必要とのことでした。続いて一緒に同行された山形大学・人文学部の米山奨学生ガラバドラフ・ムンドルの卓話が有りました。

ガラバドラフ・ムンドルさんの卓話

米山の奨学生になって2年が経ち、悩みで厄介なのは日本に慣れすぎてしまったということです。主な課題はむしろモンゴル人としてのアイデンティティを自分の中からひねり出すことだったのではないかと思います。私が今日着ている衣装は、紀元前60年ごろにモンゴルの土地で生まれた最初の国家をHUNNUと言い、その地の衣装でHUNNUえりと呼ばれているものです。元々は弓矢を使う人たちが袖口の細いデールを着ていたものが民族衣装に成りました。現代デザインと文化の保持には役立っていますが、歴史やその起源とはつながりを持たなくなった感じがします。

今年の夏はカウンセラーの飯田さんをはじめ西クラブの皆さんと一緒にモンゴルに帰ってきました。ツアーを通して母国で日本語を使って活躍できる機会があることを確認でき、責任をもって仕事をする大変さが分かった収穫ある経験を得たと思います。

(次のページに続く)

そして日本人は人から受けた恩を誰かに返そうとします。私の好きな言葉に「情水恩石」と言うのがあります。情には慈愛とか慈しみの意味があります。自分が人にかけての情けは水に流して忘れさり、そして人から受けた恩は石に刻んで忘れない。と言う意味です。ガラバドラフさんも色々な人に情けをかけてやることであろうかと思いますが人にかけての情けは水に流して忘れ去り、今まで色々な人から受けた恩は石に刻んで忘れない。そんな人になっていただきたいと思います。

幹事報告 齋藤幸雄 幹事

1. 青少年奉仕セミナーの案内がガバナー事務所より届いております。出席対象者には、後程FAXでお知らせいたします。



2. 11月3日に2015年秋の叙勲受章者の発表があり、旭日小綬章に押野宏さんが選ばれました。

3. 昨日、村山与四郎さんのお見舞いに行ってきました。12月16日クリスマス家族会の頃から復帰できるようです。

4. 11月7日地区大会が米沢で行われます。出席される方は、朝6:50まで市役所正面玄関前にお集まりください。

母国に帰ってしばらく過ごす和日本に帰るときが一番心苦しい気持ちになります。祖父が脳卒中で倒れ、言葉と感情を失ってしまいました。子供たちがみんなで集まって支えました。年を取って子供たちや孫が来ることを延々と待っている祖父母のもとを離れるときは特にさびしい気持ちになります。大事なものを置いていくのだという意識に駆られるようになった。モンゴルにこうしておいてくる人たちを自分が守っていかなければならないのだという認識さえ生まれるようになりました。出発前の3日間ずっと目頭が熱くなっていました。留学という経験をする中でいろんな大事なことに早く気付いていくのだらうと思います。

モンゴルの歌ではよく家族を歌っています。父親はよく山にたとえられます、モンゴルの遊牧生活と直結しています。母親は大地や太陽にたとえられます。母の愛を自然の恵みとして表現しているようです。世界中で有名な洋楽に両親のありがたみを歌ったものはあまりありません。モンゴルの精神がにじみ出ているのが歌だと思います。私の生まれたドンドゴビは、祖父母の出身地でもあり、90年代の行政改革後の貧しい一家を包み込んでくれた地です。物心つく前の経験しかないのに不思議な愛着があり、風景が写真のようによみがえってきます。この経験が、家族を愛する事はどんな事か、この地を離れてまで追いかけるものは何なのか、大事なものを故郷に置いてきているという自覚が芽生える昨今でした。

委員会報告 平成27年11月4日

ロータリー財団・米山奨学委員会 村山征彦委員長
『R財団・米山記念奨学会への特別寄付のお願い』
プリント配布
今年度寄付目標額 記載にて寄付お願いします。

出席報告 山口孝 副委員長

本日会員 52名 (義務者 51名)・出席者 37名
・出席率 72.55%
※前々回出席率を 86.27%に修正いたします。

スマイル (平成27年11月4日例会) 紹介:親睦・スマイル委員会 小関 芳重 委員

大久保章宏 地区米山奨学委員長 3口

米野 幸治 大久保委員長、ガラバドラフさん天童東RCにおいでいただきありがとうございます。卓話、よろしく願い致します。

齋藤 幸雄 大久保委員長、米山奨学生のガラバドラフさんを歓迎します。

押野宏さん、旭日小綬章おめでとうございます。ますますの活躍を期待しています。2口

新関彌一郎 ドルさん、大久保委員長ごくろうさまです。よろしく願いします。

志田 泰久 米山奨学会大久保委員長、奨学生ドルさん天童東クラブにようこそ。大歓迎します。

村山 征彦 大久保委員長ご苦労様です。

佐藤 豊 ドルさん、今日は天童東RCへようこそ。ナランさんには色々お手数かけました。よろしくお伝え下さい。

押野 宏 11日に皇居に行き天皇陛下に拝謁し勲章をもらってきます。5口



(次のページに続く)

米野 幸治 押野宏さん、旭日章受章おめでとうございます。これからも健康に留意されご活躍されますこと
ご祈念致します。

赤塚 弘実 押野宏様 秋の叙勲おめでとうございます。体にお気をつけて益々のご活躍を祈ります。
声は少々ひくくとも聞こえます。

白鳥 功 押野宏さん 旭日小綬章おめでとうございます。

原田 正夫 押野宏様へ 秋の叙勲受章おめでとうございます。心からお祝申し上げます。

水戸部陽一 押野会長 受賞おめでとうございます。 2口
NHKクローズアップ現代より取材受けました。11/9 7:30 P.Mより放映だそうです。

山口 孝 押野会頭さん 旭日小綬章お目出とう御座います。

村山 光男 旭日章受賞 この度は勲章伝達式 皇居「春秋の間」にて誠におめでとうございます。

分銅 昭夫 11月11日 皇居にて受賞式 旭日章受章おめでとうございます。

佐藤 豊 押野宏さんの旭日小綬章おめでとうございます。

高橋 英治 押野会長 勲章受賞おめでとうございます。
緑委員長 娘とへり、楽しんで参りました。ありがとうございました。

武山 茂 東日本震災避難者支援みんなでバーベキュー、芋煮会が無事終わりました。
お手伝いの皆様に感謝します。 2口

工藤 一夫 天童高原 新そばまつり 盛況のうち終了 1000名を超す来場ありがとうございました。
緑 三郎 でわかおり100% ひすい色の新そば 好評のうちに終了しました。
ありがとうございました。

志田 泰久 サンデータイムス11月号に、市北東部山口地区に建設中の介護施設「きらめきの里」を紹介
してもらいました。村山光男社長に感謝します。

佐藤 栄治 村山光男宅の駐車場を舗装させて頂きました。ありがとうございました。

高橋 繁夫 右を見れば深紅の 左を向けば黄金色 我を忘れる美しさ
秋爛漫の 紅葉狩
平成二十七年 盛秋 繁甫

